よつろく

学校だより　令和５年２月
新宿区立四谷第六小学校
校　長　　岩　澤　　肇

【　教　育　目　標　】
・自ら学ぶ子ども
・たくましい子ども
・思いやりのある子ども

ホームページ　http://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6

春を迎える季節へ

副校長　　筧田　貴之

早春の風はまだまだ冷たく、凍えそうになる日もありますが、四六小の子どもたちは元気いっぱいです。

立春を迎え、暦の上ではいよいよ冬の寒さに別れを告げて春を迎える季節となります。現実には、寒さの厳しい日が続いており、春を迎えるという実感はなかなかもてません。でも、夜が明けるのが少しずつ少しずつですが、早くなってきています。そして、夕方、日が暮れるのも遅くなってきています。太陽の出ている時間が毎日２分くらいずつ長くなっています。気付かないうちに、春は着々と近くなってきているようです。

学校の南門を入ると梅の木があります。梅の花言葉は、「忍耐」です。花言葉にあるように、梅はこの寒さに耐えながら力をじっくり蓄えつつ、ぐんぐん育っているのです。梅の木だけではなく、校庭の植物たちは、人知れず春を迎える準備をしています。何も変わらないように見える樹木が、しっかり張った根から水分や養分を吸い上げ枝に送り、花を咲かせたり芽吹かせたりする準備を怠りなく進めています。

子どもたちにとってもこの２月は、ちょうどそうした時期となります。１年生から５年生は進級に向けて、６年生は卒業、進学に向けて、それぞれの学年の仕上げをするのが２月です。早いもので、４月にスタートしてからもうあと二月で一年間が終わろうしています。教室で学習から学んだこと、運動会、音楽会、宿泊行事など行事から学んだこと、他学年との関わりで学んだこと、当番活動や委員会活動などで体験したことを通して、子どもたちはそれぞれにいろいろなことを知ったり、発見したり、驚いたりしながら、時には辛いことを乗り越えながら力を蓄え成長してきたことと思います。

４月の学年のはじめてに立てた「目標」はどのように進んでいるか、勉強や運動はもちろんのこと、友達との関わり合いや挨拶などの日常生活を見直し、がんばってきたことやできるようになってきたことを確かめるよう指導していきます。子どもたちの一日一日を大切に積み上げながら、一人一人の蕾が満開の花となるよう教職員一同気を引き締めて努めてまいります。

♪鼓笛隊移杖式♪

音楽担当

【日　時】　２月１６日(木)　８：３０～８：５５
雨天時　２月２４日（金）

【場　所】　校　庭

※　感染症予防の観点から変更する可能性もあります。

今年も四六小の鼓笛隊が次の代へと引き継がれる時期となりました。現在４・５年生は、来年度の鼓笛テーマ曲「ダンスホール」の演奏練習に励んでいます。まずは自分で練習し、その後にみんなで音を合わせる練習を積み重ねていくことで、少しずつ音楽が出来上がっていく喜びを味わいながら、練習を進めています。

６年生にとっては移杖式が最後の演奏となります。これまでのまとめにふさわしい立派な演奏をし、後輩たちに鼓笛隊の伝統を引き継いでくれると思います。

朝早い時間ですが、ぜひ子どもたちの演奏を聴き、温かい拍手で応援していただけましたら嬉しいです。

（５年生・６年生の保護者のみ各家庭２名までの参観とさせていただきます。よろしくお願いします。）

～5年生の窓～

５年担任

５年生の活動も残り２ヶ月程となりました。これから移杖式や送別球技大会、6年生を送る会等の多くの行事があります。今まで６年生が中心となって取り組んできたことを引き継ぎ、来年度最高学年として活動していく自覚を高めていきたいと思います。５年生として過ごす残りの日々を１つ１つの行事に向けて力を合わせて取り組んでいます。

先月の鼓笛隊の楽器決めでは、６年生から個別に楽器の演奏の仕方を教わりました。丁寧に指導してくれる６年生の話を熱心に聞き、練習に取り組む５年生の一生懸命な姿が見られました。人数も多くパワーのある５年生の演奏は迫力があり魅力的です。今後の活躍が楽しみです。